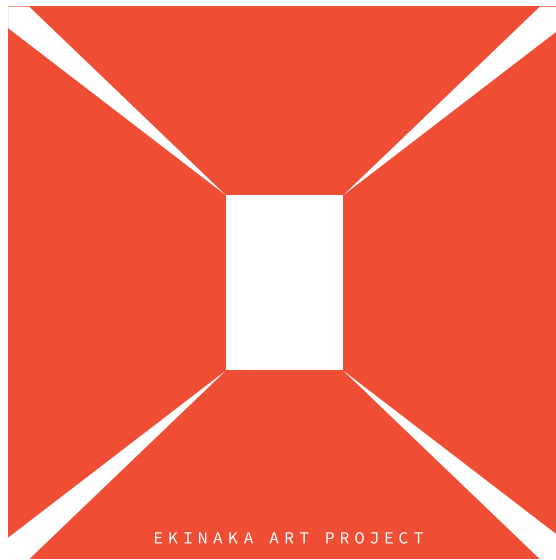




駅ナカアート プロジェクト



事業概要

「学・産・官」が連携し、大学生のアート作品で地下鉄駅構内を活性化する。

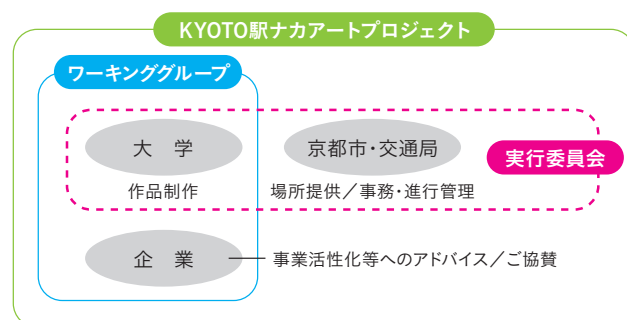
実施目的

- 人口 140 万人の大都市であり、年間5千万人の観光客が訪れる国際観光都市でもある京都。
その重要な都市装置である「京都市営地下鉄」の「駅」のイメージアップを図り、地下鉄を魅力的なものとして活性化することで、活力ある京都のまちづくりに寄与すること。
- “大学のまち京都”ならではの取組として、芸術系大学の学生が中心となったアート作品の展開により、世界に誇る「文化芸術都市京都」確立への一助となること。
- 本事業を通した「学・産・官」三者の連携・交流により、学生に対し、未来の京都を支える人材への成長の機会を提供すること。

実施駅及び参加大学

【大学名】		
京都精華大学	烏丸線	国際会館駅
京都工芸繊維大学	烏丸線	松ヶ崎駅
京都府立大学	烏丸線	北大路駅
大谷大学	烏丸線	北大路駅
京都女子大学	烏丸線	五条駅
京都教育大学	東西線	六地蔵駅
京都橘大学	東西線	柳辻駅
京都造形芸術大学	東西線	東山駅
京都美術工芸大学	東西線	三条京阪駅
京都市立芸術大学	東西線	二条城前駅
嵯峨美術大学	東西線	二条駅
嵯峨美術短期大学	東西線	太秦天神川駅

事業体制のイメージ



作品のテーマ

「あなたにとっての photogenic な駅」

駅は、通勤・通学など日常利用する人、観光や出張などで京都を訪れ利用する人、老若男女、国籍も含め多様な人が利用している「公共空間」。とかく「暗い」「殺風景」「さびしい」というイメージを持たれがちな地下鉄の駅を、アートやデザインの力で明るく、心地よくするにはどうすればよいだろう。「思わず振り返る」「じっくり見たくなる」「楽しい、夢がある」空間を目指し、いろいろな人たちが写真に収めたいデザインアート、インスタレーションに挑戦しました。

実行委員会メンバー（平成30年11月15日設立当初）

【大学名・局名 五十音順：敬称略】	
大谷大学 教授	松川 節
京都教育大学 教授	丹下裕史
京都工芸繊維大学 名誉教授	山本建太郎
京都工芸繊維大学 准教授	西村雅信
京都女子大学 准教授	江口淑子
京都市立芸術大学 教授	藤本英子
京都精華大学 准教授	米本昌史
京都造形芸術大学 教授	都築 潤
京都橘大学 准教授	河野良平
京都美術工芸大学 教授	中井川正道
京都府立大学 准教授	河西立雄
嵯峨美術大学 教授	江村耕市
嵯峨美術短期大学 教授	堤 抄子
京都市交通局 高速鉄道部長	土田 稔
京都市文化市民局 文化芸術都市推進室	
文化芸術企画課 事業推進担当課長	金田ひろ野

ワーキンググループメンバー

【大学名・企業名 五十音順：敬称略】	
大谷大学 教授	松川 節
京都教育大学 教授	丹下裕史
京都工芸繊維大学 名誉教授	山本建太郎
京都工芸繊維大学 准教授	西村雅信
京都女子大学 准教授	江口淑子
京都市立芸術大学 教授	藤本英子
京都精華大学 准教授	米本昌史
京都造形芸術大学 教授	都築 潤
京都橘大学 准教授	河野良平
京都美術工芸大学 教授	中井川正道
京都府立大学 准教授	河西立雄
嵯峨美術大学 教授	江村耕市
嵯峨美術短期大学 教授	堤 抄子
株式会社インダ	京都地下鉄整備株式会社
株式会社最上インクス	株式会社サンエムカラー
株式会社ジイケイ京都	株式会社島津製作所
株式会社ボックス画材	株式会社美十
ポノス株式会社	株式会社堀場製作所
村田機械株式会社	株式会社リーフ・パブリケーションズ

KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2019 作品構想意見交換会

日 時：平成31年2月7日（木）10時～13時30分
場 所：株式会社島津製作所本社会議室
参加者：参加12大学・協賛企業

「KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2019」の参加大学 12 校がこの日、一堂に会しました。ここでは、この事業にご協力いただいている企業の皆様の前で各大学の学生たちが、各々の作品について想い想いの構想を語り、お互いに意見や率直な感想を述べ合うことで交流を行いました。



KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2019

感謝状贈呈式 & ジョイントミーティング & 市バスアート車両お披露目

日 時：平成31年3月18日（月）11時55分～14時
場 所：地下鉄烏丸線京都駅「コトチカ広場」・京都駅前広場
参加者：参加12大学・協賛企業

京都の「大学」と「企業」と「行政」が一体となって取り組む様子をより多くの方々にご覧いただけるよう、広場でのオープン形式で「感謝状贈呈式」と「ジョイントミーティング」を開催しました。感謝状贈呈式では、門川京都市長から作品制作に当たった各大学の学生達にそれぞれ感謝状が手渡しされ、ジョイントミーティングでは、学生達が作品説明のプレゼンテーションを行い、各企業からご意見等をいただくことができました。京都駅前広場では、京都工芸繊維大学がスタンドグラスをモチーフとしたデザインを市バス車両に施し、そのお披露目を行いました。



上段左 | 感謝状贈呈式
上段右 | ジョイントミーティング
下 段 | 市バスアートお披露目



制作風景

国際会館駅：京都精華大学

〔ライフクリエーションコース〕



展示する文章を考え、直径6mmの支柱を20mmにカットし、やすります。



一文字につき3〜4本の支柱を接着し、塗装剤で色をつけます。



駅構内での文章の配置にこだわり、行間やバランスを考えて設置します。

〔版画コース〕



春らしさを感じてもらうため、プラ板で色鮮やかなチョウチョを作りました。



春の花をテーマにした正方形のデザインをフレームに収めている様子です。



作品展示の様子です。この一帯に季節感のある空間を作るよう配置しました。

松ヶ崎駅：京都工芸繊維大学



カッティングシートの型紙を作ります。



丁寧に採寸したのちカッティングします。



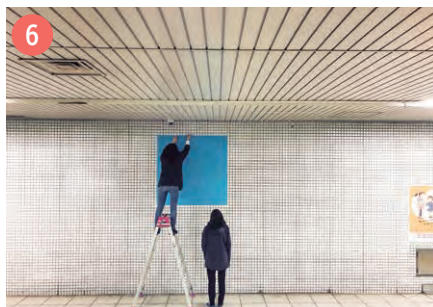
シートが出来たら貼り込みです。



天井への貼り込みは体力と集中力が必要です。



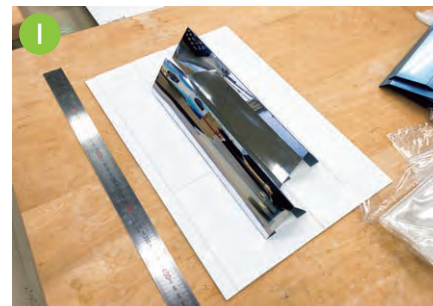
何度も貼る位置を確認しながらの作業でした。



場所を定め、枠からずれないように正方形を貼ります。

今年の作品テーマ「あなたにとっての photogenic な駅」について、学生たちが各々の感性に基づき相談、検討を重ね、一つひとつの作品を創り上げていきました。

北大路駅：京都府立大学



試作品をつくり、効果や不具合を確認しました。



塩ビ板から必要な部材をひたすら切り出していました。



両面テープが接着しやすいように壁面を清掃しました。



図面を参照しながら、丁寧に部材を張り合わせていきました。



ミラー面の保護フィルムを1枚ずつ剥がしていきました。



作品が完成しました！

北大路駅：大谷大学



展示作品を目につきやすくするため、駅構内の清掃を行いました。



今回のプロジェクトに参加されている、各大学名と開催駅を記した全体パネルの制作風景です。



駅構内に設置する提灯の作成風景です。和を感じる駅作りの主要パーツとなりました。



モザイクアートの制作風景です。カラフルな色彩を施しました。



階段の壁面に作品を展示している様子です。間隔をあけながら、駅を利用されている方々に見てもらえる展示を心がけました。



今回のサブタイトルである“平成と令和の ka 和 ii”を本大学の書道部さんに書いていただいたので、その作品を展示している様子です。令和という文字に多くの方が反応されていました。

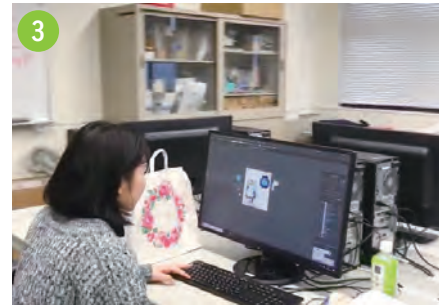
五条駅：京都女子大学



壁に貼る部分を印刷しています。



階段に貼るキリンを切っています。



柱に貼るデザインを作成中。



駅で貼り終わったところです。

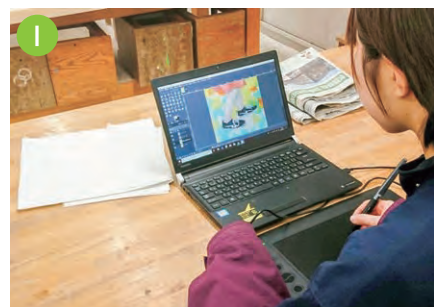


風の中貼り続けます。



動物との背比べができます。

六地蔵駅：京都教育大学



写真を撮り、パソコンに取り込み、ペイントソフトで描画します。



断熱材からスチロールカッターで形を切り出し、和紙を張り子することで表面を整えます。着色はアクリルスプレーです。



時計の秒針だけを残して、文字盤の上に白のパネルを貼ります。



パネル出力し、強力両面テープを用いて設置します。



設置には厚手の両面テープとコンクリートビスを用いてしっかりと固定します。



透明のフィルムにクラゲの写真を印刷し、秒針に貼り付けて動きます。

栂辻駅：京都橘大学



切り取った造花の花部分を下地のボードに接着しています。



背景となる部分にドットシールを貼り付けています。



造花の色や大きさのバランスを考えて下地へ貼り付けます。



透明なレジンにキラキラしたラメを混ぜ合わせています。



レジンとラメを混ぜ合わせたものを下地に塗っています。



栂辻駅の改札前壁面に作品を設置しているところです。

東山駅：京都造形芸術大学



全ての施工を終え、作品の前で全員で記念撮影をした。仲間と一緒に作り上げた喜びと達成感で胸がいっぱいになった。



アイテムの取り付けをした途端に多くの方が作品に触れてくれるようになった。「体験するアート」の魅力の強さを制作中に改めて感じた。



老若男女、多くの方が利用する駅の中で、どうすれば手に取りやすく安全に遊ぶことができるのか。常に作品に触れてくださる方のことを考えながら、何度も試作を重ねた。



自分たちが作った作品でおままごとを始めた親子がいた。制作しながらこっそりとその風景を観察。誰かを笑顔にできる作品を作れたことを誇りに思う。

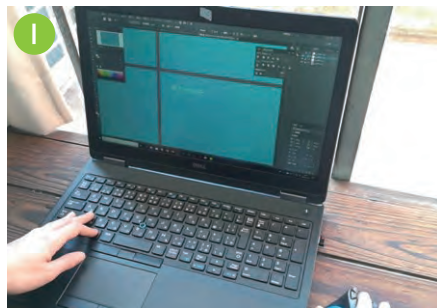


壁紙部分の加工も全て自分たちで行なった。「こんなに大きな作品を作るのか!」と実物のサイズを見て胸が高鳴った。



地下鉄構内の風が吹き荒れる中、一枚一枚丁寧に壁紙を施工した。「明るい気持ちになるね」とあたたかい声をかけていただき、チーム一同思わず笑顔がこぼれた。

三条京阪駅：京都美術工芸大学



印刷するデータをパソコンで作成します。



大型プリンターで印刷します。



みんなで協力して一枚一枚ボードに貼り付けていきます。



パネルを貼る前に壁の清掃をしました。



400枚近くのパネルを全員で貼っていきます。



高い所もずれないように丁寧に貼っていきました。

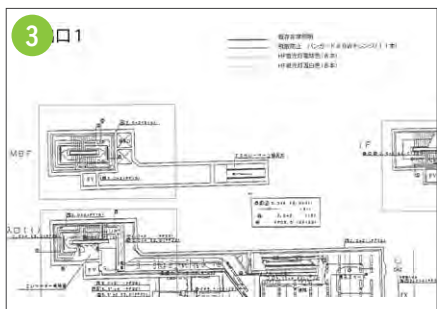
二条城前駅：京都市立芸術大学



京都
「街」には、特有の風情がある。



二条城前駅
「駅」には、白色蛍光灯が並ぶ。



出口から改札へ
光の色でグラデーションを作る。



京都の街を彩る暖色から、既存の蛍光灯の白色へ。



緩やかな色の変化で、「街」と「駅」を繋ぐ。

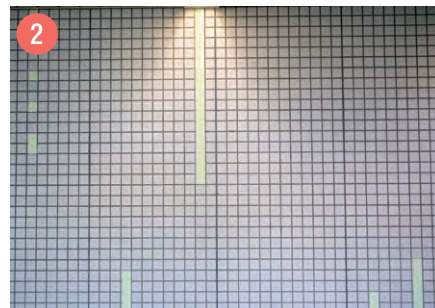


構内にはキャプションを設置。

二条駅：嵯峨美術大学



通路にセンサーチャイムを設置。



センサーチャイムと蓄光テープ。蓄光テープが光る様子は誰も見るできない。



スピーカーやライト、鏡が仕込まれた箱の表面は黒板になっている。



親しみやすい表情を作る。



箱の覗き穴の中をセッティング。



そろそろ仕上がり。

太秦天神川駅：嵯峨美術短期大学



マンガ専攻を生かして、今回のテーマにどう取り組むか、コンセプトを相談しました。



展開するアイテムの構成、具体的なポスターのイメージや4コマのアイデアを詰めています。



マンガ制作ソフトを使って作画しています。マンガらしいモノクロ表現を大切にしました。



いよいよ展示に取りかかります。シートが定着しやすいように、まず展示場所の掃除をしました。



裏紙をはずしながら丁寧にシートを貼っていきます。



巨大な作品は複数シートの貼り合わせとなるため、絵柄を合わせるのに苦労しました。

作品一覧

〔実施駅及び参加大学〕



〔展示期間〕 平成31年3月18日～令和元年5月31日

〔広報物制作〕

京都美術工芸大学の濱井春海さんが、担当の岡達也先生のご指導のもと、ポスター、パンフレット表紙、紙管等の広報物デザインを一手に引きうけてくれました。ポスターのデザインは、今年のテーマ「あなたにとっての

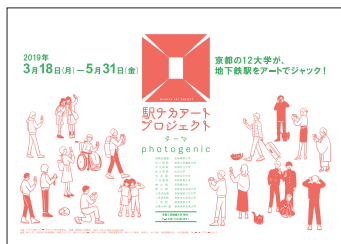
Photogenic な駅」から、地下鉄を利用する人達が思わず足を止めて写真を撮っているという構図。開催駅に設置する紙管には、京都らしさを感じさせる舞妓さんをモチーフとし、遠くからでも目を引くデザインに仕上がりました。

BI ポスター



ポスターデザイン

B3 ポスター



紙管

〔PR映像制作〕

駅ナカアートプロジェクトのPR映像を大谷大学が制作しました。

メイキングムービー

各大学の制作風景を一本のメイキングムービーにまとめました。Photogenic という今年のテーマに基づき、作成した作品そのものだけでなく、制作風景も含め Photogenic であるということを表現するムービーとしました。また、音源に合わせた編集も行いました。

CM ムービー

駅ナカアートプロジェクトが、多くの駅にて開催されているということを多くの方々に知っていただくため、シンプルな広報ムービーとしました。駅ナカアート公式ロゴが音に合わせ動く所をポイントとしています。



▲大谷大学の YouTube ページにつながります。

〔ライフクリエイションコース〕

作品名 **omouji**

制作者 | 玉元茜梨・鈴木凌華・梅田郁美・橘 悠花・大坪千夏
指導教員 | 米本昌史



私たちライフクリエイションコースにとってのフォトジェニックとは共感を生み、それを共有してもらうことで更なる共感を生むことです。共感とは、他者と喜怒哀楽の感情を共有することであり、それは「誰かを想う」ことに繋がります。また言葉であるがゆえに自由に想像しやすく、自分の体験や経験と重ねることで共感を生むことが出来る文章を展示しています。そこで写真を撮って、インスタグラム等の SNS で共有していただき、この作品「omouji」が人の気持ちを伝える新しい媒体として活躍できればと思っています。

〔版画コース〕

作品名 **春の錦**

制作者 | 今泉 春・大山華奈・鎌野すみれ・水谷 航・瀬島夏穂
指導教員 | 池垣タダヒコ



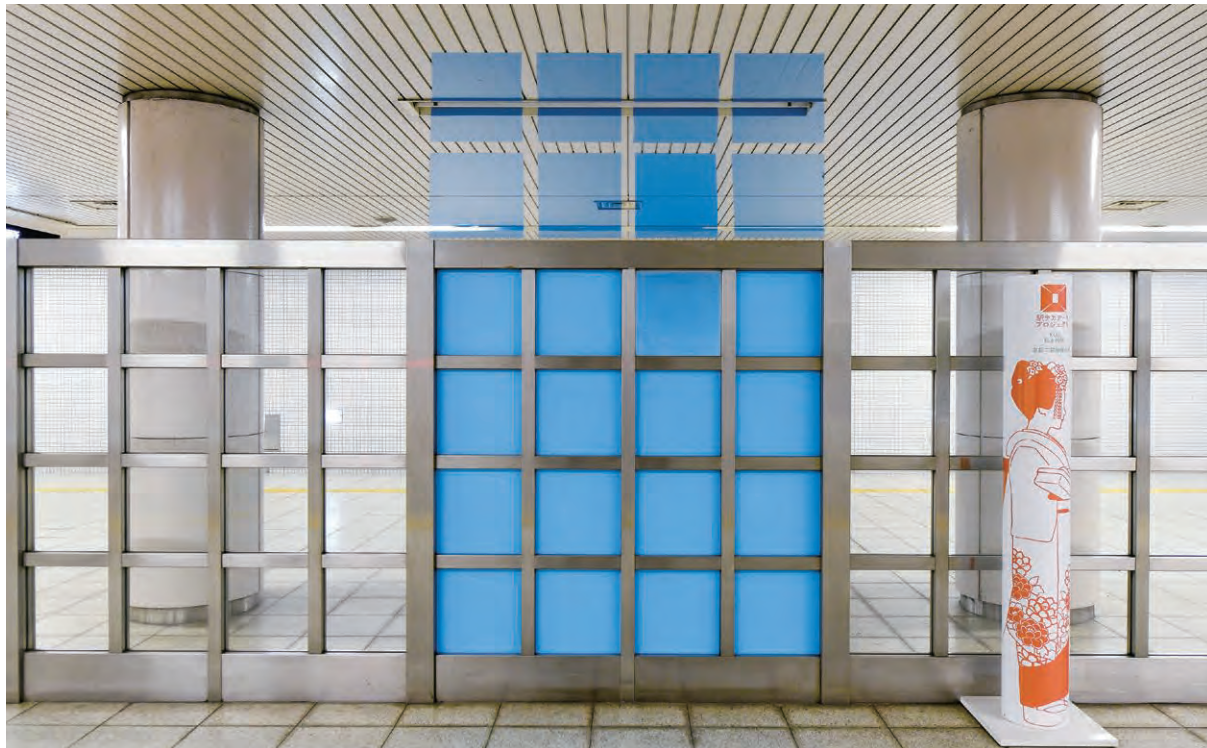
私たち版画コースは、展示期間が春であることから、共通のテーマに「春の花」を挙げ、地下鉄駅構内にいても春の息吹を感じられるような明るくて季節感のある一角の提供をします。作品1枚1枚、表現方法は描く人によって違いますがサイズを正方形に統一することで作品間に繋がりをづくり、歩きながらでも目を運びやすくするようにまとめました。

松ヶ崎駅

京都工芸繊維大学

作品名 青の平面

制作者 | 西口友晃・横山 新・平本 高・吉川鈴嘉・岩男光希子・松岡奈央・津田正樹・櫻井沙和・水野綾香
指導教員 | 西村雅信



松ヶ崎駅には改札内外を仕切る窓格子があります。松ヶ崎駅特有のその窓格子と、正方形のタイル壁を生かした作品を制作しました。奥行きが無くなって見えるという錯覚技法であるアナモルフォーシスを用い、ある一点から見るとまるで窓格子が無くなり平面が浮き上がって見えるようにカッティングシートで装飾しました。制作したこの平面は京都の市街地を表しています。正方形のタイル壁と窓格子は、京都の整然とした街区を、また、青い色で人々の暮らしに寄り添う鴨川や風物詩である北山時雨といった水を表現しています。非日常的な体験で京都という地に思いを馳せてみてください。

北大路駅

京都府立大学

作品名 鏡のなかの

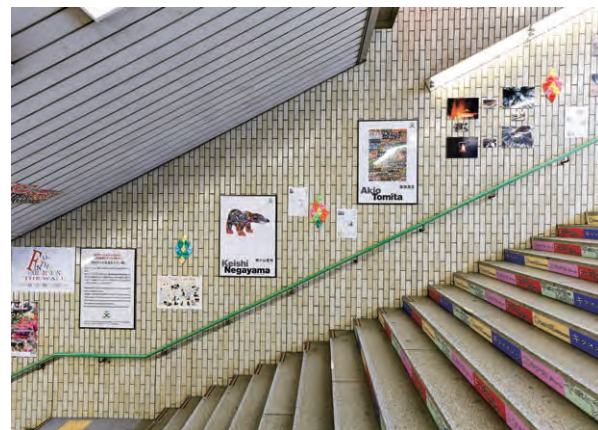
制作者 | 工藤美樹・島田 涼・白石 晃・玉置由乃
指導教員 | 河西立雄



駅は様々な人が利用する場所であり、生活が交差する空間です。このような駅の往来に現れる人の姿や音を鏡によって集約し、ひとつの動的な印象として表現したいと考えました。鏡は人々がまとう振る舞いの中に現れる取り留めのない瞬間を切り取り、一度として同じにならない景色をつくり出します。姿や音は留まり続けない、という性質を鏡が表象します。この作品は駅を利用する皆さんの存在によって初めて完成します。

作品名 平成と令和の ka 和 ii 「otani entrance」 ～ fill in the exhibition the wall ～

制作者 | 小島琢斗・深見和希・岩下 健・小野博範・加藤将也・木佐貫一真・杉林尚幹・玉川成輝・内藤妙子・中谷宣記・西村 学・松尾 翼・
 養村和志・矢幡桂一
 指導教員 | 松川 節・倉光延行



今年、本大学は北大路駅構内を「大谷大学の入り口」、「和風感あふれるもの」とすること、そして「駅構内を展示作品で埋め尽くす」ということを目標として制作、展示を行いました。大谷大学の入り口感を出すための展示では、大谷大学内にて活動されている書道部、写真部さんから作品を借用し、埋め尽くすように貼り付けました。和のテイストを出す作品展示では、提灯をメインとして展示し、提灯のデザインは柄や色のついた和紙を貼り付けました。駅に立ち寄った人が写真を撮ってしまいたくなるような展示となっておりますので、ぜひ撮影した写真をInstagramなどに掲載してみたいはいかがでしょうか。

作品名 どうぶつと背くらべ

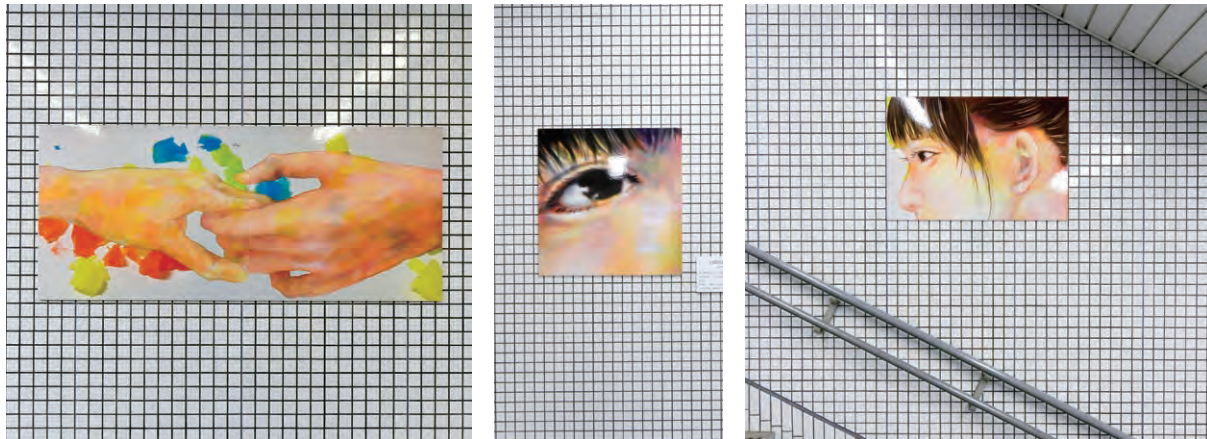
制作者 | 吉田夏喜・有地佑美・板垣彩佳・岩井由美・中村美晴・藤本彩加・西島美歩・丸山あかり・宮野瑠奈
 指導教員 | 江口淑子



今年のテーマは「どうぶつと背くらべ」です。等身大の動物たちと背比べをして、写真をとってもらえればと思います。実物大の動物たちの足跡も階段に貼っていますので手形あわせが出来ます。5本の柱はそれぞれ、サバンナ・ジャングル・氷の世界・海・草原に住む動物たちです。アメコミ風にポップに楽しく五条駅を明るくして、駅を利用する皆さんに楽しんで頂けたらと思います。

作品名 colorful

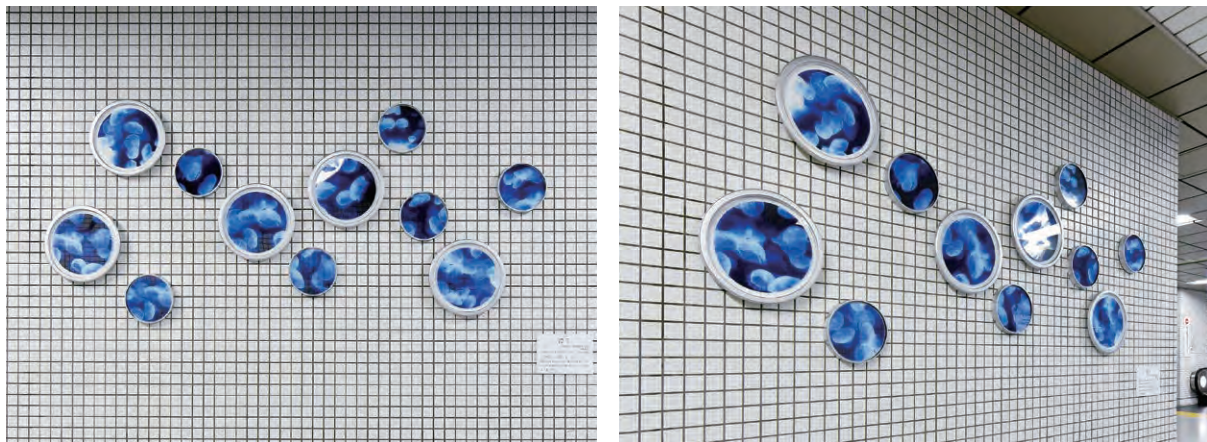
制作者 | 加藤優花
指導教員 | 丹下裕史



地下鉄は多くの人々が利用しています。それぞれが、それぞれの目的地へと向かって。仕事へ、学校へ、友人と遊びに…。その人の1日が、鮮やかに彩られますように。

作品名 漂う

制作者 | 松崎結衣
指導教員 | 丹下裕史



流れのまにまに漂うクラゲを、時計の動きを利用して表現しました。地中にあるはずの地下鉄の外には、もしかしたら海の中の世界が広がっているかもしれません。

作品名 under ground

制作者 | 坂本湧一
指導教員 | 丹下裕史



京都の地に太く根ざした市営地下鉄のイメージから着想を得て制作しました。地下鉄の壁に露出する太い根から、普段何気なく利用している地下という空間の異質さや、生命感を感じてもらえればと思います。

作品名 tachi-flower

制作者 | 市川太一・伊藤 廉・岩崎涼真・尾形天馬・尾上佑之介・木村由唯・郡 絵美・澤田裕人・清水茉友・清水真由・杉山 侑・寺田有耶音・寺田淳一郎・道海隼斗・中原比香里・樋ノ口海樹・松浦美由・松本颯太・山本理貴・藤澤優里香
指導教員 | 河野良平



地下鉄は、私たちには無くってはならない存在です。しかし、地下鉄の駅は光があまり当たらないため、暗いイメージがあります。この作品では、花をたくさん使うことで地下鉄を明るくし、また見るだけでなく写真を撮ったり、利用する方にもシールを貼ってもらうことによって参加していただきたいと考えています。地下鉄を利用する全ての人を元気にしたいという思いを込めて制作しました。

作品名 飛び出せ！駅ナカ京造

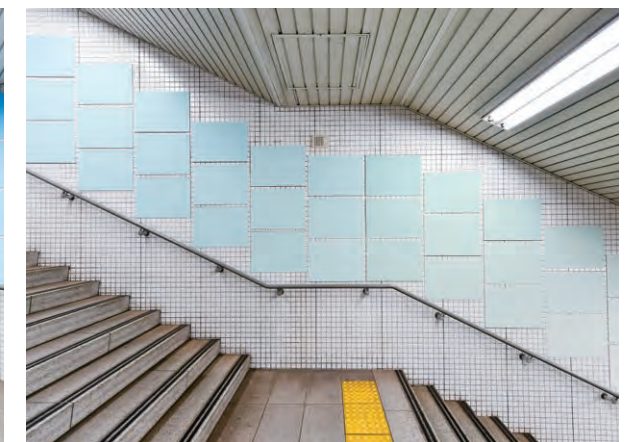
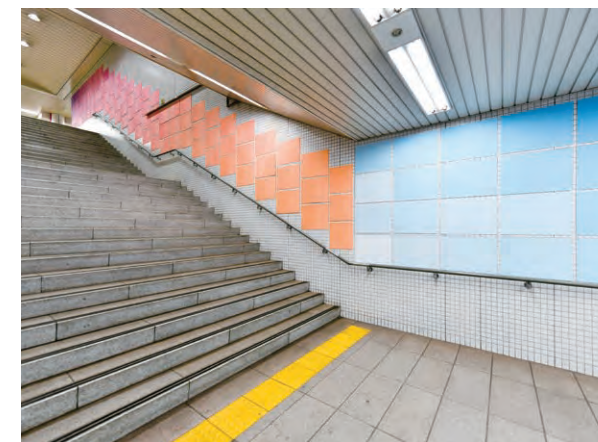
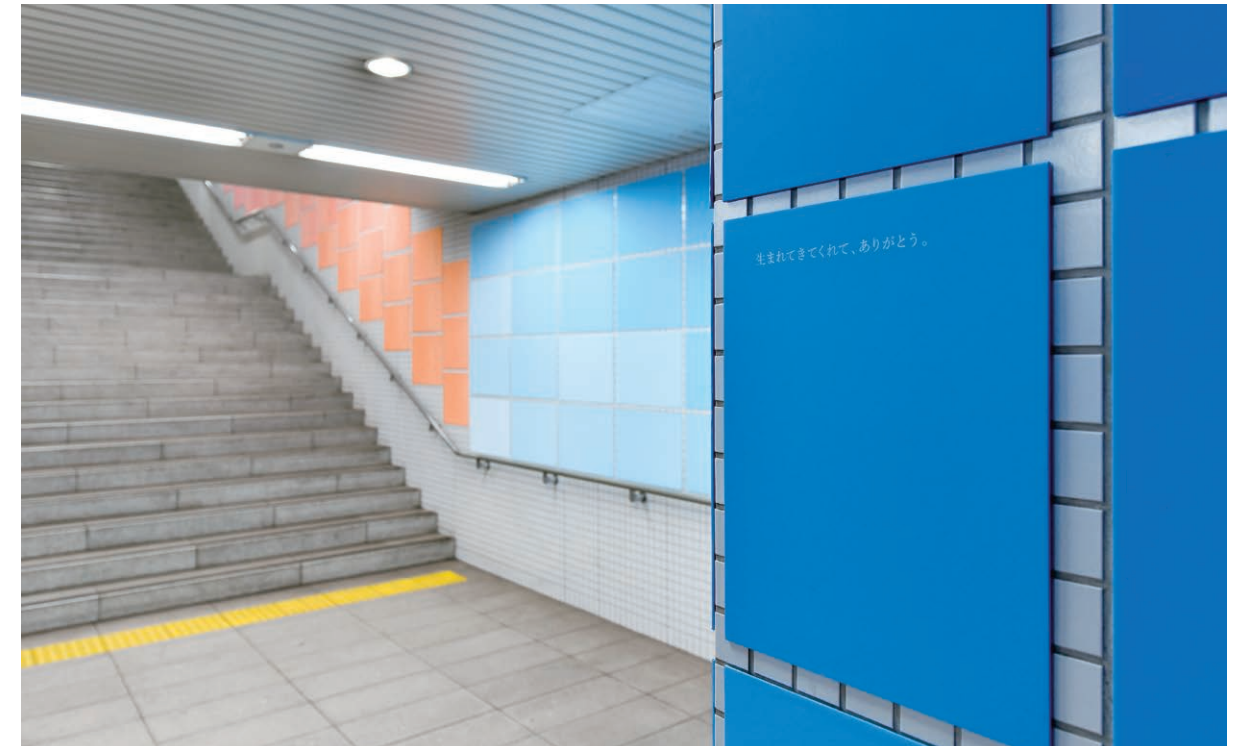
制作者 | 相場 葵・磯本朱里・岩城有香・長谷川文香
指導教員 | 都築 潤・とんぼせんせい



誰もが明るい気持ちになれる、思わず触れたいくなるようなポップで可愛い巨大壁面アートを作りました。駅という公共の中にある日常と、パーソナルな日常を掛け合わせることで「非日常」ができあがり、そうした違和感から作品に興味や関心を持って欲しいと考え、このような部屋のデザインにしています。地下鉄という日常の中に新しい空間を作り出し、人々の日常を明るく笑顔にできる楽しい作品ができたと思っています。写真を撮ってくださる人たちにとって、作品に触れたり写真を撮ったりすることが、大切な人との良い思い出となり、アートを通して日常の大切さを感じて欲しいです。

作品名 京のそら

制作者 | 西村慎太郎・野上 怜・高橋さくら・濱井春海・岩元今日香・宮崎詩音
指導教員 | 中井川正道・岡 達也



地下空間では見ることができない風景を作りたいと考え、「心が軽くなる、温くなる。」空間をめざし、空をイメージした作品を制作しました。単色のパネルをグラデーションに見えるように壁面に貼っていき、朝・昼・夕の空を表現しました。また、パネルには様々なシチュエーションを思い出して、嬉しくなったり心が温くなるような言葉をいれました。三条京阪駅を利用する人が、この空を見て友人や恋人、家族のことを思い返して温かい気持ちになってほしいと思います。

作品名 駅の色を、変えてみる

制作者 | 中井由梨・肖力三
指導教員 | 今村悦美・藤本英子



歴史と文化の溢れる都、京都。路地には灯籠が並び 川面には提灯が映っています。暖色の灯は、この「街」を彩る光です。「街」の基点となる二条城前駅。地下に降りると、「駅」には白色蛍光灯が並んでいます。蛍光灯を交換し、出口から改札へ、光の色のグラデーションを作ります。京都の街を彩る暖色から、既存の蛍光灯の白色へ緩やかな色の変化で「街」と「駅」を繋ぐことで、現在の駅への、『実験と提案』を行います。

作品名 異世界へのラビットホール

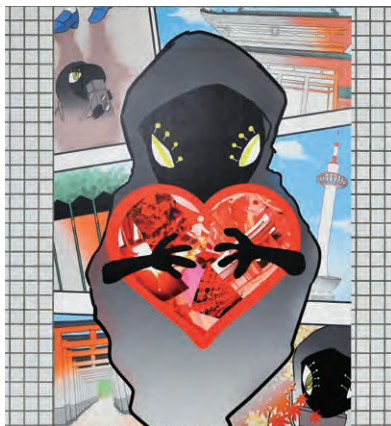
制作者 | 賈婭・菊池友希・洪亜沙・寧梓・李光娅・李青暉
指導教員 | 宇野和幸・江村耕市



わたしたちは、フォトジェニック（写真映え、写真向き）という言葉と、あらためて感じ直すためにあえて形を捉えにくい作品を計画しました。「センサーが反応することで音が聞こえる」「覗き込んだ穴の中に歪んだ空間が見える」「違う場所の音が聞こえる」などのしかけで、今、ここと同時に存在する異世界を感じることを目指しました。見たことのない異世界を、人ほどのようにして認識するのでしょうか。写真は何を記録するのでしょうか。写真は何を共有するのでしょうか。いつもの駅構内が、いつもと違っている。その違和感が魅力的なものならば、新鮮な発見につながるものならば、それはとてもたのしくて重要な出会いです。

作品名 フォトジェニックな街、京都 - 2人と1匹の旅のかたち -

制作者 | 加藤好紗・寄田史佳・繁光菜穂子
指導教員 | 堤抄子



京都には美しい寺や神社、季節によって移り変わる風景があります。そこで今回は「フォトジェニックな街、京都」をテーマに、私たちが専攻しているマンガの力を使って、京都の名所を訪れるきっかけづくりになる展示を考えました。マンガは、魅力的なキャラクターに感情移入しストーリーを追ってもらうことで、複数ページにわたって情報を伝えることができます。四コママンガとともに、一枚絵のポスターでもコマ割りで演出し、時間と空間を重層的に表現しました。また、モノクロのドット表現でマンガらしさを押し出しています。特に天井まである巨大マンガはコマの中に入って一緒に写真を撮ることができる、まさにフォトジェニックな作品となっています。キャラクターとともに京都の旅を楽しんでいただけますと幸いです。

作品名 ステンドグラスにのって。

制作者 | 岩男光希子・松岡奈央・西口友晃・横山 新・平本 嵩・吉川鈴嘉・津田正樹・櫻井沙和・水野綾香
指導教員 | 西村雅信



制作するにあたり、どのようにしたら存在感があり、みなさんに乗ってみたいと思ってもらえるバスができるかと考えました。市バスの大きな窓からステンドグラスを連想し、まるでバスがステンドグラスを着ているかのようなデザインに決めました。一見単なる幾何学模様にも見えますが、古来からの模様である市松模様や雲、京都の寺社でも見られる丸窓をモチーフとして構成しています。このような、和を感じさせながらもモダンな幾何学模様は、伝統を重んじつつ新しいものを取り入れていく京都の姿をあらわしています。内装にも同じ装飾を施しているので、ぜひ実際に乗ってみてください。

KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2019 にご協賛いただいた企業

世界最大の地下鉄システム
京都地下鉄整備株式会社

はかりしれない技術を、世界へ。

ISHIDA

SAIJO

SUN COLOR
http://www.sunm.co.jp/
New Printing Industry

GK Kyoto
Design and Planning

SHIMADZU
Excellence in Science

おもいを、かたちに。
ボックス画材

京ばあ

にゃんこ
大戦争

HORIBA
Explore the future

muratec
村田機械株式会社

Leaf

これまでの軌跡

■平成 23 年度

国際会館駅・松ヶ崎駅・北大路駅の 3 駅で実施
(参加大学) 京都工芸繊維大学・京都精華大学・京都府立大学

■平成 24 年度

国際会館駅・松ヶ崎駅・北大路駅・くいな橋駅・石田駅・柳辻駅・東山駅
二条城前駅・太秦天神川駅の 9 駅で実施
(参加大学) 京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都嵯峨芸術大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学
京都造形芸術大学・京都橘大学・京都府立大学

■平成 25 年度

実行委員会を設立しての運営開始

■平成 26 年度

エコール・デ・ボザール(パリ国立高等美術学校)が参加し、京都嵯峨芸術大学と作品を共同制作
市バスアートを京都造形芸術大学が担当・実施
照明の設置(北大路駅・二条城前駅)
キーワードラリー及びアンケートの実施(オリジナルエコバッグのプレゼント)

■平成 27 年度

京都女子大学が市バス車体側面へのデザインアートを担当・実施

■平成 28 年度

鞍馬口駅で新たに実施 (参加大学) 大谷大学
京都女子大学がポスター等の広報物をデザイン
大谷大学が各大学のメイキング映像を制作・発表

■平成 29 年度

2校が新たに参加 (参加大学) 京都美術工芸大学・嵯峨美術短期大学
新規参加や展示駅変更等により六地藏駅・三条京阪駅・二条駅の 3 駅で新たに実施
京都精華大学が PR 紙管を製作し各駅の改札付近に設置

■平成 30 年度

京都美術工芸大学がポスター、PR 紙管等の広報物を担当
京都工芸繊維大学が市バス車体へのデザインアートを担当
大谷大学が制作した PR 映像を地下鉄駅(北大路駅・四条駅・京都駅)のデジタルサイネージにて放映

後援



協力



文化庁 地域文化創生本部

【主 催】 KYOTO 駅ナカアートプロジェクト実行委員会
(構成団体：参加 12 大学、京都市交通局、京都市文化市民局)

【「駅ナカアートプロジェクト」に関するお問い合わせ先】

京都市交通局高速鉄道部営業課
075-863-5218 (平日 8:45-17:30)

